

French Open 2012. 6. 4~6. 5



ここが クレーの聖地。ローランギャロス。
ネットでがんばってチケットをゲット。

テレビで見ていたあのゲートに立っているの
よ。憲一さんはスザンヌ・ランランのレリーフと



バモス ラファ!!

着ているのは ローランギャロスの
ポロシャツです。



私たちも パリのテニスコートで 練習。
でもコンクリートのコートで痛かった！



憲一さん大興奮！！
あのマッケンローと練習コートで遭遇。

パリ巡り歩き



美術館巡り
オルセー美術館
ルーブル美術館

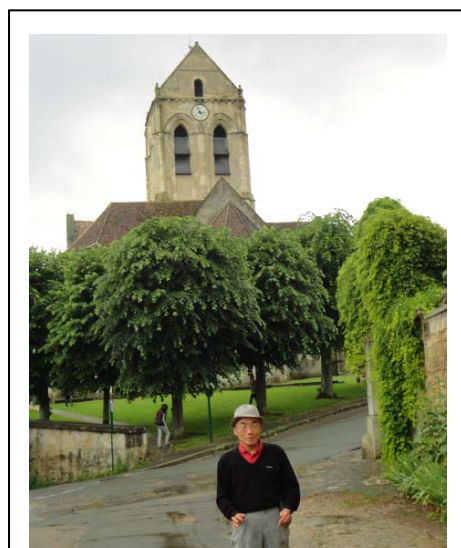


パリのホテル
モンパルナスの
駅近くで便利



サンジェルマン・デ・プレのドウ・マゴ
憧れのお店で スイーツをいただきます

郊外電車で オーヴェル＝シュル＝オワーズ村へ



坂道の上にあの教会が現れました



静かに眠る ゴッホとテオのお墓



村の肉屋さんお勧めのワインと絶品パテで乾杯！！

ゴッホは 1890 年 5 月 16 日、サン＝レミ＝ド＝プロヴァンスの精神病院を出た後、オーヴェル＝シュル＝オワーズへと移動して、ポール・ガッシェ医師の患者となった。彼はここで人生最後の 10 週間を過ごし、その短い期間に『オーヴェルの教会』を含む作品 100 作以上を制作した。

レンタカーの旅～フランス編

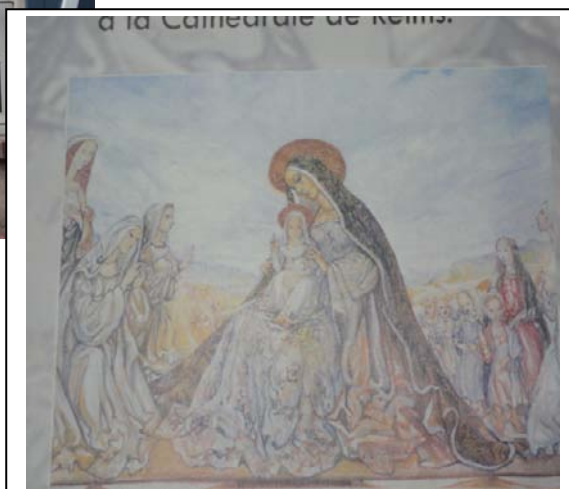
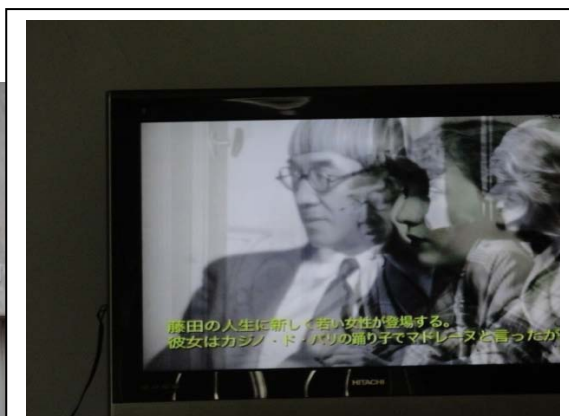
旅の初めは FUGITA 6/8



パリ郊外の旧宅をメゾン・アトリエ・フジタとして開館

建物のデザイン、室内のインテリア 全て藤田の好みで統一されていました。

二階の作業場壁に残されているデッサン



シュノンソー城 (Château de Chenonceau) 憧れの貴婦人のお城へ。ロワール渓谷の宝石。



ディアヌ・ド・ポワチエは城と川沿いの眺めを非常に愛した。彼女はアーチ型の橋を建設し、城を向こう岸と結んだ。庭園に花や野菜、果樹なども植えさせた。

ワインの都 ホルドー ワイナリー巡り 6/20



下のホテルは 'ワイン倉庫を改装したもの。'

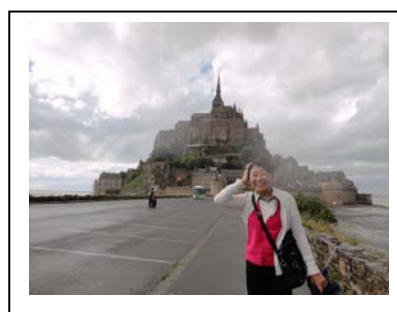
ここは もちろんバスツアー。

運転手に身を任せ、ワイン三昧。

なぜかお土産は 青く輝くカトラリーセット



モンサンミッシェル 6/21



やっと探し当てたホテルで 不覚にも眠ってしまった二人。

モンサンミッシェルに着いたのは 夕方。

お目当ての ピックオムレツ食べられず・・・
山頂の修道院に入れず・・・ トホホ

ノルマンディー上陸作戦 6/22



ここが 歴史の転換点。

多くの血と涙が流された場所。

静かに 風が吹き抜けていました。



旅は続く ドーバーを渡りイギリスへ 6/23



事故も病気もなく 走り抜いて
いよいよイギリスへ。

レンタカーも一緒に GO!

旅の終わりに 7/8

パリでレンタカーを借りて、パリに無事戻る。(コレが大事)

□

40 日の旅が終わった。



たくさん美味しいものを食べて 憧れの場所を訪れて 二人でいい時を過ごしました。

結婚史上 最多のケンカも発生しましたが、終わりよければ全て良し!!